



Powder Room Planning Guide

洗面器にはいろいろなバリエーションがあります。デザインテイストやフォルムはもちろんのこと、壁掛け、カウンター置き、オーバーカウンター型などといった設置方法も実にさまざま。こちらのガイドでは、お客様が理想のサニタリーウェアをセレクトできるように、洗面器のバリエーションごとにそれぞれの特徴をまとめました。サニタリースペースのプランのヒントとしてぜひご活用ください。

Powder Room Planning

壁掛け洗面器



特徴・設置方法

壁にボルトで支持して洗面器を設置するため、壁下地で強度を確保する必要がある。シンプルですっきりとした空間となる。

メリット

- ・洗面下がすっきりし、視覚的な広さを感じられる。かつ、掃除もしやすくなる。
- ・カウンターやキャビネットがないため、その分コストが抑えられる。
- ・専用タオルバーやコンソール、ペDESTALなどと組み合わせることができ、トータルコーディネートを楽しむことができる。

デメリット

- ・ミラーキャビネットやリネン庫など、収納を別で考慮する必要がある。
- ・カウンターがないため、物を一時的に置くスペースが少ない。
- ・洗面器のサイズによっては、床への水撥ねが発生する。

Powder Room Planning

壁掛け洗面器 参考プラン

1. すっきりシンプルな洗面スペース

洗面、トイレ、浴室がひとつになった3 in 1のバスルーム。
洗面下をすっきりさせることで空間の抜け感が生まれます。
また排水を床ではなく壁にすることで、
床がフラットになりお掃除がしやすくなります。



2. 収納をフレキシブルに

洗面下の空間を活かし、ワゴンタイプの収納を設けた例です。
造作キャビネットをつくるよりもコストが抑えられ、
可動式なので洗面下をフレキシブルに活用できます。
また棚板1枚設置するだけでも、カゴなどを用いてタオルや掃除道具
を置くことができます。



3. オプションでコーディネートを楽しむ

ヨーロッパ製洗面器はオプション品が充実しています。
壁掛けにすると、タオルバーやペDESTALなどを組み合わせることができ、
洗面スペースをより華やかに演出することができます。

Powder Room Planning

カウンター置き型（背面粘薬なし）洗面器



特徴・設置方法

カウンター置きが可能、洗面器の背面に粘薬の仕上げが施されていないため、壁に接して設置するのが一般的。

メリット

- ・洗面器の高さがそのまま見えてくるので、存在感があり華やかさがある。
- ・壁面に接して設置するため、壁と洗面器との隙間がなくお手入れしやすい。

デメリット

- ・すり鉢型の場合は、洗面器とカウンターの隙間に水が垂れた場合、狭いスペースのため掃除がしにくい。
- ・洗面器の高さにボリュームがある場合、その分カウンターの設置位置が低くなる。

Powder Room Planning

カウンター置き型（背面粘薬なし）洗面器 参考プラン

1. ボリューム感を楽しむ

幅 120cm・高さ 17.5cm と、かなり存在感のある洗面器を
カウンターキャビネットの上に置きました。
中庭に面した開放感のある広めの洗面スペースならではのプランです。



2. フォームを楽しむ

なめらかな美しいフォルムが印象的な洗面器。
壁と洗面器の間に空間があるように見受けられますが、
台座があるため、壁面に接して設置しています。
さらに、ゆとりのあるサイズのため、
カウンターへの水撥ねもある程度防ぐことができます。



3. 洗面器に小物を置く

実際に生活していくと、洗面スペースでは石鹸や歯ブラシなど
細々した小物が必要になってきます。
それらをカウンターではなく洗面器のデッキ部分に置けば、
多少濡れても気にならず、またお手入れもしやすくなります。

Powder Room Planning

カウンター置き型（背面釉薬あり）洗面器



特徴・設置方法

カウンターの上に置いて設置。洗面器の周囲が釉薬で仕上がっているため、壁から離して設置することができる。

メリット

- ・デザイン性の高いものが多い。
- ・洗面器のまわりに空間があるため、洗面器自体のフォルムが映え、華やかさがある。
- ・カウンターやキャビネットを含めてコーディネートをすることができ、空間全体としてデザインすることができる。

デメリット

- ・洗面器と壁の隙間に水撥ねが発生し、汚れやすい。その隙間が狭ければ狭いほど、掃除がしにくい。
- ・すり鉢型（右の写真のタイプ）は、洗面器とカウンターの隙間に水が垂れた場合、狭いスペースのため掃除がしにくい。
- ・洗面器の高さにボリュームがある場合、その分カウンターの設置位置が低くなる。
- ・組み合わせる水栓金具の選択肢が限られる。

Powder Room Planning

カウンター置き型（背面釉薬あり）洗面器 参考プラン

1. ホテルのような洗面スペース

セカンドハウスの洗面スペースとして、華やかさを重視したプラン。180cmのカウンターには小物置きやドレッサーとしての機能もあり、使い勝手も考慮された完成度の高い洗面スペースとなっています。



2. アイランド型洗面スペースに

洗面器の四方すべてが釉薬で仕上げられているため、このようなアイランド型カウンターに設置することも可能。デザイン的なインパクトはもちろん、二方向から使うこともできるので、ショップやレストランなどの手洗スペースにおすすめ。

3. ゲストを迎え入れる手洗スペースに

カウンター置きは、ゲストの方もお使いになる手洗器としておすすめ。華やかさはもちろん、カウンターに一輪挿しや小物を置いたり化粧直しもできるので、ゲストの方に配慮した手洗スペースが実現します。



Powder Room Planning

半埋め込み型洗面器



特徴・設置方法

洗面器の厚みのおよそ半分ほどが、カウンターから下に埋め込まれるように設置する。すっきりとおさまる。

メリット

- ・洗面器の存在感を出しつつも高さが抑えられるため、空間になじみやすい。
- ・見た目はすっきりしているが、それ以上にボウルの深さが確保されていて、デザイン性と実用性のバランスが良い。
- ・カウンター置き型よりも、カウンターの設置位置を高くすることができる。

デメリット

- ・カウンター置き型ほどの強い存在感はない。

Powder Room Planning

半埋め込み型洗面器 参考プラン

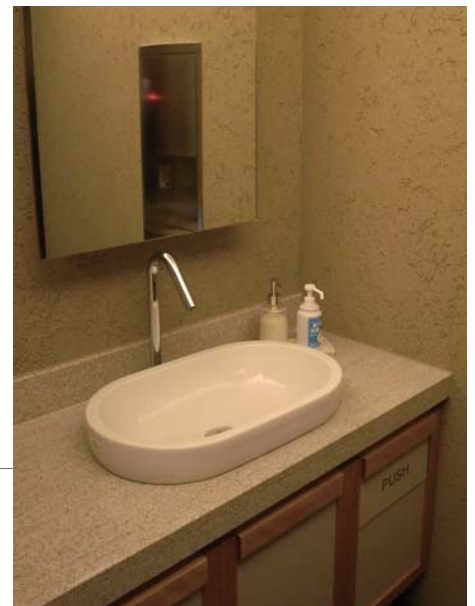
1. ワイドタイプでもすっきり

収納スペースたっぷりのキャビネットにシンプルな洗面器を半埋め込みで設置しました。1mという大型サイズにもかかわらず、すっきりと空間に溶け込み、デザイン性と実用性を兼ね備えた洗面スペースとなりました。



2. ダブルボウルでもすっきり

半埋め込み型の洗面器を2つ設置したプラン。カウンター面から洗面器トップまでは10cm弱ですが、ボウル内部は約14cmの深さを確保。空間とのバランスの良さだけでなく使いやすさも考慮し、さらには、ダブルボウルならではの華やかさも感じられます。



3. フォームもアピール

店舗のトイレ個室に半埋め込みタイプの手洗器を設置。半埋め込みにすることで、カウンターも多少高く設置できます。オーバル型のフォームも映え、華やかさも演出、住宅用トイレ手洗器としてもおすすめです。

Powder Room Planning

カウンター一体型洗面器



特徴・設置方法

ボウルの周囲にカウンタースペースを設けた一体型タイプ。濡れたものを置いてもお手入れしやすく衛生的。

メリット

- ・ボウルとの継ぎ目がなくお掃除がしやすい。
- ・陶器など洗面器と同じ素材のカウンターなので、濡れたものも気兼ねなく置くことができる。
- ・カウンター一体型洗面器を壁掛けで設置すれば、造作カウンターを省くことができ、コストを抑えることができる。

デメリット

- ・壁掛にて取り付けをし、洗面下のスペースを空にする場合は、収納を別で考慮する必要がある。
- ・「使いやすいボウルサイズ+カウンター」と考えると、ある程度広いスペースが必要。
- ・壁掛にする場合は、荷重に耐えられる壁下地になっているかどうかの確認が必要。

Powder Room Planning

カウンター一体型洗面器 参考プラン

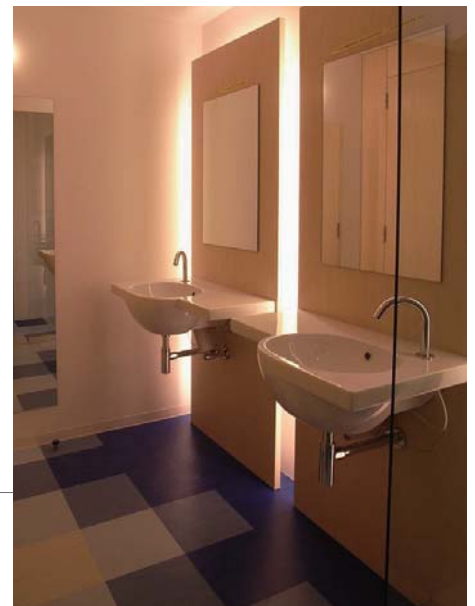
1. 洗面下にキャビネットを設けて

洗面器とサイズを合わせた造作キャビネットを設置。洗面器との統一感が生まれ、すっきりとした洗面スペースになります。収納を確保し、かつボウル周りのお手入れがしやすく衛生的、使いやすさとお手入れのしやすさを追求したプランです。



2. さらに造作カウンターを追加

1と同じ洗面器に、さらに造作カウンターを設けた施工例です。濡れたもの、もしくは濡れてしまうものを置くのは陶器カウンター部分、メイクやヘアセットなどの身支度は造作カウンター部分と使い分けができます。もちろん、洗顔時の水撥ねもボウル周りの陶器カウンターでカバーでき、お手入れもしやすくなります。



3. パブリックスペースにも

オフィスのトイレ手洗いスペースです。手洗い以外にも、歯磨きやメイク直しもすることを考慮し、小物がおけるカウンター付きの手洗器を設置。手を洗う方の邪魔にならずに歯磨きやメイク直しができます。

Powder Room Planning

オーバーカウンター型洗面器



特徴・設置方法

カウンターの上方から洗面器を落とし込んで設置。カウンター上部に出るフランジ部分がデザインポイントとなる。

メリット

- ・カウンターとの段差が抑えられるため、拭きやすくお手入れがしやすい。
- ・洗面器の露出部分が薄くカウンターを低くする必要がないので、下にビルトイン洗濯機を設置したり、ドレッサーとしても併用できる。
- ・洗面器の高さが抑えられるので、空間に馴染みやすい。

デメリット

- ・カウンター置き型などと比べると、洗面器のデザイン性があまりアピールされない。
- ・ラインナップが少ない。
- ・サイズバリエーションも少なく、ほとんどのものが洗面器としては小ぶりなボウルサイズで、快適に洗顔できるゆとりあるサイズのものがない。

Powder Room Planning

オーバーカウンター型洗面器 参考プラン

1. ビルトイン洗濯機を設置

カウンター下にビルトイン洗濯機を併設する場合、通常カウンターは85cm以上の高さが必要となります。洗面器のトップ面は82cm～85cmが一般的ですので、このようなオーバーカウンター型であれば、すっきりとおさまります。



2. 腰掛けてドレッサーとしても

カウンターの高さがあるため、スツールに腰掛けて化粧スペースとしても使えます。化粧品や道具を並べて、ゆっくりとメイクを楽しむことができます。



3. すっきりとお手入れしやすい

カウンターとの段差が抑えられるため、お手入れやすくなります。洗面器の存在感も決して主張せず、空間に自然と馴染みます。

Powder Room Planning

アンダーカウンター型洗面器



特徴・設置方法

カウンターの下に洗面器をおさめて設置。凹凸のない、すっきりとしたカウンターになる。

メリット

- ・カウンターがフラットになり、お手入れがしやすくなる。
- ・洗面器の露出部分が薄くカウンターを低くする必要がないので、下にビルトイン洗濯機を設置したり、ドレッサーとしても併用できる。
- ・洗面器のボリュームが無くなるため、空間がすっきりとする。

デメリット

- ・ボウルとカウンターとの継ぎ目が汚れやすい。
- ・洗面器のデザイン性、存在感がアピールされない。
- ・ラインナップが少ない。
- ・サイズバリエーションも少なく、ほとんどのものが洗面器としては小ぶりなボウルサイズで、快適に洗顔できるゆとりあるサイズのものがない。

Powder Room Planning

アンダーカウンター型洗面器 参考プラン

1. カウンターを際立たせる

鮮やかなグリーンのマザイクタイルが印象的な洗面カウンター。
洗面器はシンプルなスクエアタイプを選び、
マザイクタイルのカウンターが映えるようにしました。



2. フラットなカウンターですっきり

洗面器をカウンター下におさめると、カウンターがフラットになり、
すっきりとした洗面カウンターになります。
空間に溶け込みやすく、かつ、使いやすいという点で、
ある程度のグレードの分譲マンションでは、定番的なプランのひとつです。



3. 水栓デッキ付タイプも

水栓は濡れた手で操作するため、1と2のケースでは、
水栓まわり、つまりカウンターが濡れてしまいます。
一方、こちらの洗面器は水栓デッキ付ですので、
陶器部分に水栓が設置されているため、お手入れがしやすいタイプです。

Powder Room Planning

セミビルトイン型洗面器



特徴・設置方法

カウンターからせり出した状態で設置。カウンターの奥行きを抑えつつ、洗面器のデザイン性もアピールできる。

メリット

- ・カウンターの奥行きを抑えることができる。
- ・カウンターから洗面器がせり出した状態になり、空間にアクセントが生まれる。
- ・カウンターを設けながらも、視覚的な空間のゆとりを感じることができる。

デメリット

- ・カウンターの奥行きがあまりないため、物を置くスペース、作業をするスペースが小さくなる。
- ・ラインナップが少ない。

Powder Room Planning

セミビルトイン型洗面器 参考プラン

1. 浮遊感とボリューム感を楽しむ

分厚い縁と高さのある洗面器をカウンターからせり出して設置、洗面器が持つボリューム感とせり出すことで生まれる浮遊感が空間にアクセントを添え、ユニークな洗面スペースとなります。



2. パブリックスペースにも

レストランなどの女性用パウダールームでは、ハンドバッグを置いたり、化粧直しのためのスペースが必要です。セミビルトイン型であれば、そのようなちょっとしたスペースが確保でき、また空間も有効的に使うことができます。



3. トイレ個室内の手洗器として

セミビルトインは、トイレ個室内の手洗器としてもおすすめ。視覚的な空間のゆとりを保ちつつ、カウンターを設けることで、ゲストの方にも配慮した手洗スペースが生まれます。

Powder Room Planning

ダブルボウル



特徴・設置方法

洗面器を並べて設置。2人同時に使うことができ、ホテルライクな空間にすることができる。

メリット

- ・2人同時に使用できるので、慌ただしい朝の身支度でもストレスなく使うことができる。
- ・ホテルのような華やかな雰囲気を演出することができる。

デメリット

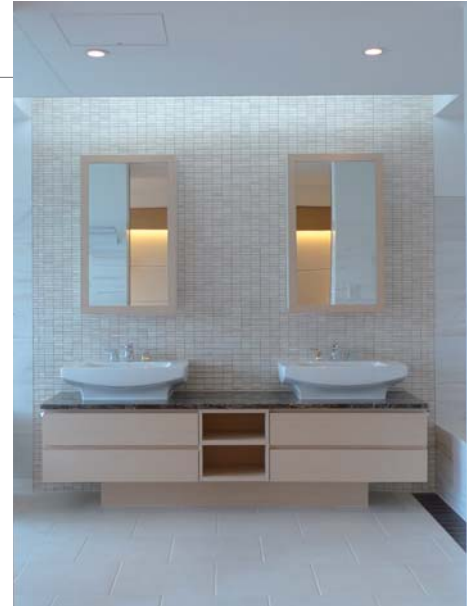
- ・洗面スペースを広く確保する必要がある。例えば、洗面器として使いやすい最低限サイズである60cmタイプを2台並べると、洗面器部分で120cm、さらに意匠的なバランスを考慮してカウンター部分を30cmずつ確保すると、計210cm必要となる。これよりコンパクトにするには、使いづらいことを覚悟して洗面器サイズを小さくする、もしくは華やかさや演出性を諦めて余白のカウンター部分を狭める必要がある。
- ・機器、配管設備が2つつ必要となるため、コストがかかる。

Powder Room Planning

ダブルボウル 参考プラン

1. カウンター幅 200cm 超の場合

まさに高級ホテルのような洗面スペースです。
2m を超えるゆったりとしたカウンターに、
エレガントな洗面器を2つ配置しました。
マスターベッドルームに相応しい、品格漂う上質な空間です。



2. カウンター幅 180cm の場合

180cm ほどの幅のカウンターに 60cm の洗面器を2つ設置した例。
決してゆったりとしたサイズではありませんが、
キャビネット下に間接照明を入れることで浮遊感を演出し、
空間の広がりを感じることができます。



3. カウンター幅 140cm の場合

140cm 幅のカウンターに 50cm の洗面器を2台設置した例。
カウンタースペースが窮屈で、決して優雅なダブルボウルとは言えません。
スペースが限られている場合は、無理に洗面器を2台並べるよりも、
一体型のダブルボウルタイプ、もしくは幅広洗面器に水栓を2個設置するほうが
快適で美しい洗面スペースとなります。

Powder Room Planning

大型洗面器



特徴・設置方法

幅がゆったりとした洗面器。ボウルサイズが大きいので水撥ねもカバーし、また二人並んで使用することもできる。

メリット

- ・ ゆったりとした幅のため洗顔時の水撥ねを洗面器で受け止めることができ、カウンターなど洗面器まわりの汚れが抑えられる。
- ・ 水栓位置を中心からずらすことで洗うスペースを広くすることができる。
- ・ 二人並んで使用することができる。

デメリット

- ・ 洗面器のデザインによってはボリュームが大き過ぎて、空間に圧迫感を与える場合がある。

Powder Room Planning

大型洗面器 参考プラン

1. 使いやすい、ゆったりサイズ

120cm 幅のゆったりサイズは思いっきり洗顔しても、
 カウンターへの水撥ねはほとんどありません。
 また、洗面用途だけではなく、
 ユーティリティーシンクとしても兼用できるサイズです。



2. 水栓位置をずらす

水栓を中心ではなく、左に寄せて設置した例です。
 これにより、洗顔などの洗うスペースをより広く確保できます。
 さらに、首振り可能な水栓であれば、
 よりスペースをフレキシブルに活用することができます。



3. ショップ・レストランにも

レストランなどの手洗器はコンパクトなものが多く、
 使い方によっては、ボウル周辺のカウンターや床などが濡れてしまって、
 見苦しいというケースがよく見受けられます。
 幅の広いタイプにいただければ、
 ゲストの方も気持ち良く使うことができます。

Powder Room Planning

ダブル水栓ができる洗面器



特徴・設置方法

幅広の洗面器、もしくはボウルが2つある洗面器に水栓を2台設置、二人同時に使用することができる。

メリット

- ・朝の慌ただしい身支度の際でも、二人同時に使用することができる。
- ・150cm程度の洗面スペースに50cm幅の洗面器を2台並べた場合、空きスペースは15cm程度しか取れず、物を置くには狭く、メイクなどの身支度をすることも充分ではない。また、見た目のバランスも悪く窮屈な印象となる。一方、ダブルボウルならではの華やかさを諦め「二人同時に使用する」という機能を優先させた場合、幅広の洗面器に水栓を2台設置した方が、ボウルサイズが大きくなり使いやすく、お手入れもしやすくなる。
- ・幅広洗面器の場合、洗顔時の水撥ねをボウル内で受け止めることができ、洗面器まわりの汚れが抑えられる。
- ・ダブルボウル付き洗面器の場合、ボウル自体はコンパクトだが、洗面器全体はかなり幅広でまた継ぎ目がないため、ボウルまわりに水が飛び散っても、洗面器でカバーでき、かつお手入れもしやすい。

デメリット

- ・洗面器のデザインによってはボリュームが大き過ぎて、空間に圧迫感を与える場合がある。
- ・ダブルボウル付き洗面器の場合、1つのボウルサイズはコンパクトになる。

Powder Room Planning

ダブル水栓ができる洗面器 参考プラン

1. 首振り水栓を2台設置

幅広な洗面器に2台水栓を設置し、二人同時に使えるようにしました。
コンパクトな洗面器を2台並べるのではなく、
120cmの広々とした洗面器1台にまとめ、使いやすさを重視、
また首振り可能な水栓のため、洗顔などの際スパウトを左右に振って、
顔を洗うスペースを広く確保することができます。



2. コンパクトなスペースでも二人で使える

スペースが限られているため、カウンターやキャビネットは無くし、
1m幅の洗面器をシンプルに壁掛けで設置しました。
ゆったりとしたサイズのため使いやすく、
さらに水栓を2つ設置し、二人同時に使用できるようにしました。



3. ダブルボウル一体型

ダブルボウル洗面器は、
2つのボウルとデッキ部分がすべて一体化されているので、
継ぎ目がなくお手入れしやすくなります。
保育園や幼稚園などの手洗器としてもおすすめです。

Powder Room Planning

リム付洗面器



特徴・設置方法

洗面器の周囲にリムと呼ばれる立ち上がりがあるタイプの洗面器、リムは水滴をガードするだけでなくデザインの要素もある。

メリット

- ・リムが水をガードし、床やカウンターへの水の滴りを防ぐことができる。
- ・エレガント、クラシカルな雰囲気を演出。洗面器によってはベダスタルやサイフォンカバーなどのオプションを組み合わせることにより、より華やかな印象になる。

デメリット

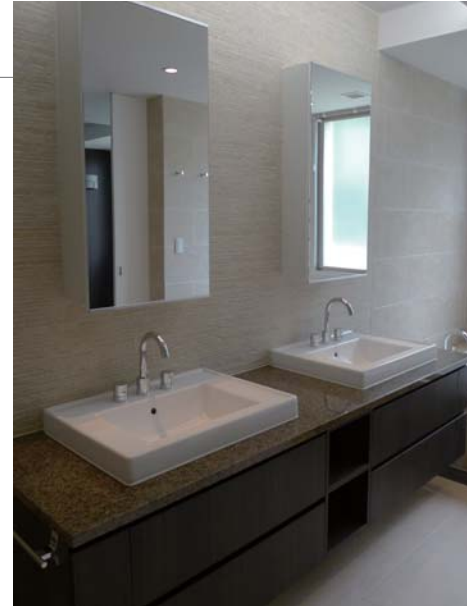
- ・洗面器自体に凹凸ができるため、シャープな印象には欠ける。

Powder Room Planning

リム付洗面器 参考プラン

1. エレガントな洗面スペースに

落ち着いたカウンターとキャビネットを組み合わせた洗面スペース。
ツートハンドルの水栓金具がさらにクラシカルな印象を与えます。
マスターベッドルーム用など、
大人のための洗面スペースとしておすすめです。



2. 造作で雰囲気をも高める

洗面器のテイストに合わせて、
シックな色合いのコンソールと額縁型ミラーを造作しました。
クラシカルな雰囲気の中にもモダンテイストが感じられ、
品格漂うパウダールームが完成しました。



3. バッグガード付きでさらに使いやすく

壁側にも高めのバッグガードがあるタイプです。
ボウル周りのカウンターをお掃除する際、
濡れたスポンジでお手入れしても水がガードされ、
壁が汚れにくくお手入れしやすくなります。